

『ソク・サバーイ！ 続カンボジア・サッカー見聞録～牛の
向こうに未来が見える～』 Vol. 2

● J F Aサッカー1級審判インストラクター 唐木田 徹



会長（将軍、右から二人目）ら F F C 役員と

みなさんこんにちは。

日本の夏は、梅雨明け宣言が出来ない地域もあるうちに、いつの間にか8月になったと聞いています。こちらカンボジアの今年の夏は、雨季にもかかわらず雨が少ないようです。もっとも、地方によって差があるようで、ある地方では例年以上に雨が降って困ってい

る、という話もあります。異常気象は世界共通スタンダードですね。

先日、F F C (Football Federation of Cambodia) から「臨時総会への招待状」というのを受け取りました。“日時は?”と見ると、明日です。いつものことですが突然です。場所はインターコンチネンタル・ホテル、プノンペンでトップクラスのホテルで、家から車で15分くらいのところですが。朝8時からなので、その前に朝食を食べようと、アシスタントが6時15分に迎えに来てくれました。

こちらのレストランは朝6時くらいから営業しています。この日行ったところは、「朝6時から10時、夕方5時から夜10時まで」のようです。昼間はやっていません。ということは、カンボジア人向けのレストランということになります。カンボジア人は昼休みになると、家に帰って食事をします。そして、公務員の多くは、たぶんそのまま仕事に戻りません。モトバイ(バイクタクシー)やその他のアルバイトに行くのでしょう。

7時半頃にホテルに着きました。式次第をもらいましたが、何が書いてあるのかまったく読めません。かろうじて、「8時に始まって12時に終了、13時半までランチ(たぶん)」ということだけが分かります。しかし、8時になっても人は疎ら、8時半頃からやっと

集まりだして始まりました。



表彰者たち（左から二人目がアシスタント）

連盟会長の挨拶、教育青年スポーツ省の高官挨拶に続いて2008年度の事業内容がDVDで映され、さらに現在建設中の新しいトレーニングセンターに関する説明がありました。その後、表彰式が行われました。察するに、教育省から功労章の授与式の様です。年配に交じって、私のアシスタントも表彰されました。たぶん、FIFAレフェリーとしての活動実績が評価されたのでしょう。誇らしげで嬉しそうでした。



現在建設中の新しいトレーニングセンター（プノンペンから約30 km）。完成時期は???

開始時間が遅れたのに、途中休憩ではオンタイムになりました。

その休憩後、どうやら役員改選が行われようとしています。壇上にいた旧役員が挨拶の後、下段に降りてきました。そして、いよいよ役員改選です。



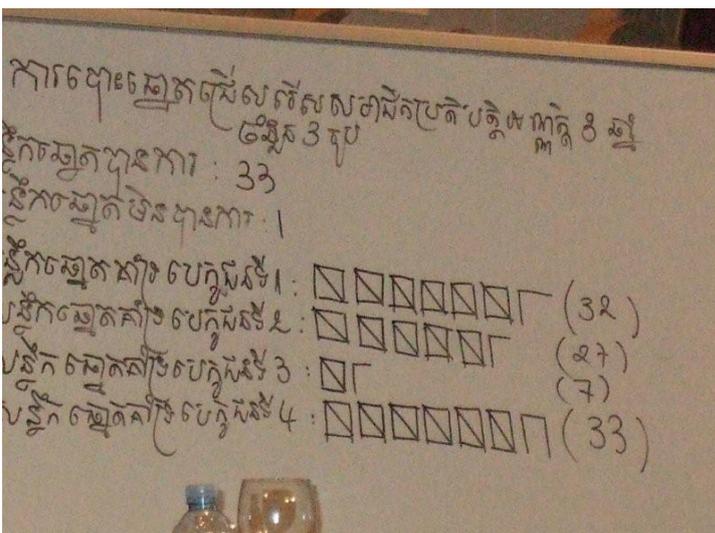
一回ずつ投票用紙を受け取り記入する

まず会長の再任決議。カンボジア24州（プノンペンだけ市）の

代表（教育省の人？）とCPL参加10チーム、計34票による投票です。有権者が1名ずつ呼び出されて投票用紙が渡され、小さな記入ボックスで記入したのち透明な投票箱に投票します。34名いますからけっこう時間がかかります。全員が投票すると、投票箱を開けて開票し、ホワイトボードに書き出します。



透明な投票箱



開票速報

会長は34対0で再任されました。次は副会長。これは2名候補から1名選択のようです。同じように、34名がぞろぞろと投票行動を繰り返します。次は理事。9名選びますが、任期によって2、3、2、2名に分けて投票します。



会長の挨拶と新役員たち

結局、会長、副会長、理事選考（4回）が34名の投票で都合6回行われたわけです。選挙の公正さ、透明性を保つためのセレモニーというわけです。カンボジアは腐敗認識指数166位（180カ国中、日本は18位＝上位ほどクリーン）と、まだまだ国・国民の

意識が高くありません。まったく効率的ではありませんが、これもこの国が発展途上にあるという一つの光景といえます。

ちなみに、ランチタイムは1時間遅くなりました。

※『ソク・サバーイ』とは、クメール語で「元気です」「元気ですか？」（正式にはソク・サバーイ・テー？）の意。